

我々は日本、朝鮮、台灣、また滿洲をも含んでの、プロレタリア前衛の獨自的な結合隊の可能を信ずる。左翼労働者運動の全領域に過度に入りこんだ小ブルジョア要素及イデオロギーは執拗に掃蕩されねばならぬ。日本の労働階級は他人を搾取せざる小ブルジョア勤労大衆を獲得せずして其の役割を果し得ないけれども、労働階級の主導的地位が確立された後にのみ、小ブルジョア勤労者はその同盟者たり得る。

×

我々はコミニンターンを難じ、黨を難じ、急進小ブルジョアを難じた。我々は深い苦しみを感じつゝ痛苦な自己批判として之を認めた。勿論我々はすべての責任をコミニンターンや小ブルジョアに轉嫁するものではなく、又轉嫁し得るものでない。日本共産黨が今日、尖銳に示してゐる缺陷や矛盾に對し我々自身、強い連帶責任がある。こゝに述べたことは嘗簡単に過ぎて意を盡さぬものが多い。しかし我々はこの短い言葉を歟外に出すにも甚しく苦勞してゐる。もしできればヨリ詳細の見

×

×

×

×

22

解を告げたい。しかしこゝに述べただけでも不完全乍ら問題の核心を提出し得たと信ずる。公式的理論から我々の見解を反駁するのは他人をまたず我々自身に十分できるしかし動かし難い現實は日本の左翼労働者運動のラデカルな再編制を要求して居る。プロレタリア前衛の黨の權威は、コミニンターンの決議や論文を神聖視して反覆復誦することや蘇聯邦社會主義の成功的宣傳だけから生れるのではない。權威は内面から、黨活動から、奔出し發揚し形成されるべきものである。かかる創意が如何に缺けてゐることか。コミニンターンの原則及び組織そのものが來りつゝある日本社會の變革に決定的に不適合であること、これが指導に從つて居ればそのうち何とかなるだらうといふ日和見主義を排する。黨同志は勿論多くの眞摯な黨外労働者や支那朝鮮台灣の同志は我々の聲明に驚愕し憤慨するかも知れぬ。我々はその憤激する良心的態度に信頼し、根本からの廣汎な討議の實行を望む。我々に對して汚

23